

少数台数のリコール届出の公表について (令和2年7月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、令和2年7月は15件の届出がありましたので公表します。

1. 届出者：フォルクスワーゲングループジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
7月2日	外 3054	車名：フォルクスワーゲン 型式：ABA-5NCZE 通称名：ディグアン 1.4/1 10kW	49	平成28年11月25日～ 平成29年4月21日
不具合の部位等	リヤスポイラーにおいて、接着作業指示が不適切なため、当該リヤスポイラーとテールゲートの接着力が不足しているものがある。そのため、車両振動等により接着面が剥がれ、最悪の場合、リヤスポイラーが脱落し、他の交通の妨げとなるおそれがある。			

2. 届出者：UDトラックス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月3日	4772	車名：UDトラックス 型式：2PG-CD5CA 他 通称名：クオン	27	令和2年3月5日～ 令和2年4月8日
不具合の部位等	大型トラックのスチール製ディスクホイールにおいて、リム成型の金型が不適切なため、リムとディスクの溶接合わせ面が不均一となり、溶接部の疲労強度が不足しているものがある。そのため、長時間使用すると溶接部に亀裂が入り、最悪の場合、ディスクホイールが破損するおそれがある。			

3. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月7日	4775	車名：三菱 型式：2RG-BE740G 他 通称名：ふそうローザ	47	令和元年10月29日～ 令和元年12月12日
不具合の部位等	小型バスにおいて、DPFマフラーの取付作業時の確認が不適切なため、異なる仕様のDPFマフラーを誤装着したものがある。そのため、保安基準第31条（排出ガスの基準）に適合しないおそれがある。			

4. 届出者：日産自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月9日	4776	車名：ニッサン 型式：DAA-HE12 他 通称名：ノート	4	令和2年5月13日～ 令和2年5月21日
不具合の部位等	フロントサイドメンバにおいて、溶接設備の設定不良により溶接ガンが車体パネルへ正しく当たらず、溶接打点の一部で溶接がされていないおそれがある。このため、サイドメンバの強度が低くなり、前方車両衝突の際に乗員空間を確保するための車体強度が足りず、最悪の場合、乗員に危害を与えるおそれがある。			

5. 届出者：範多機械株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月14日	4779	車名：日野 型式：TKG-XZU675M 他 通称名：デュトロ	10	平成30年9月5日～ 令和元年11月14日
不具合の部位等	小型凍結防止剤散布車後輪フェンダー部において、フェンダー及び対向ブラケットとタイヤとのすき間が不適切なため、カーブ走行及び段差乗越え時にフェンダー及び対向ブラケットとタイヤが接触し、最悪の場合、タイヤがパンクするおそれがある。			

6. 届出者：メルセデス・ベンツ日本株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
7月16日	外 3058	車名：メルセデス・ベンツ 型式：CBA-217478 他 通称名：メルセデスAMG S6 3 4Mカブリオレ 他	4	平成28年5月31日～ 平成28年9月13日
不具合の部位等	エンジンコントロールユニットの制御プログラムにおいて、車両へ搭載する仕様指示が不適切なため、誤った仕様の制御プログラムが搭載されている。そのため、騒音が基準値を満足しなくなるおそれがある。			

7. 届出者：メルセデス・ベンツ日本株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
7月16日	外 3059	車名：メルセデス・ベンツ 型式：DBA-117351 通称名：CLA250 4MATIC	2	平成28年10月13日～ 平成29年3月2日
不具合の部位等	助手席側シートクッションの乗員重量区分システムにおいて、製造時の重量校正が不適切なため、本来の重量より軽く、又は重たく判断することがある。そのため、チャイルドシートを装着している場合に人が着座していると誤認識し、衝突時に意図せずエアバッグが展開する、又は、人が着座している場合にチャイルドシートの装着若しくは荷物と誤認識し、衝突時にエアバッグが展開しないおそれがある。			

8. 届出者：株式会社大原鉄工所

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
7月17日	4778	車名：大原 型式：MM04 他 通称名：Caliber	7	平成28年11月17日～ 平成29年10月17日
不具合の部位等	雪上車の電気配線において、バッテリーからヒューズボックスの間に設置したパネル貫通型端子台の選定が不適切なため、走行振動等により接触不良を起こすものがある。そのため、接点が摩耗し、通電不能となり、最悪の場合、走行できなくなるおそれがある。			

9. 届出者：株式会社オートバックスセブン

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
7月20日	4781	車名：ニッサン 型式：CBF-VNM20 通称名：NV200バネット	13	平成30年12月22日～ 令和2年5月7日
不具合の部位等	燃料タンクにおいて、シートスライドレールをフロアに固定するボルトとの隙間が小さいため、当該ボルトが燃料タンク上部に接触しているものがある。そのため、当該ボルトが燃料タンクを傷つけ、燃料が漏れるおそれがある。			

10. 届出者：三菱ロジスネクスト株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月28日	4765	車名：ニチュ 型式：251AC 通称名：トランサー	9	平成19年1月9日～ 平成25年9月11日
不具合の部位等	バッテリー式フォークリフトの電動式パワ・ステアリングにおいて、ステアリング操舵のアシスト設定が不適切なため、ステアリングエンド時に生じる慣性衝突力がリヤアクスル等の材料強度を上回るものがある。そのため、そのままの状態を使用を続けると、当該部品が損傷し、操舵できなくなるおそれがある。			

11. 届出者：東プレ株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月28日	4780	車名：ニッサン 他 型式：CBF-SQ2F24 他 通称名：アトラス 他	22	平成27年3月19日～ 令和2年6月17日
不具合の部位等	車両総重量3.5トン以下のバン型トラックにおいて、補助制動灯の取付位置が不適切なため、保安基準 第39条の2（補助制動灯の基準）に適合していない。			

12. 届出者：日本トレクス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月28日	4785	車名：トレクス 型式：PFB34118 他 通称名：-	51	平成28年12月14日～ 令和元年9月11日
不具合の部位等	セミトレーラのリヤコンビネーションランプにおいて、取付指示が不適切のため、保安基準第37条（尾灯の基準）又は保安基準第37条（尾灯の基準）及び保安基準第39条（制動灯の基準）に適合しない。			

13. 届出者：日本トレクス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月28日	4787	車名：トレクス 型式：VFR342BK 他 通称名：-	71	平成28年7月15日～ 令和元年11月14日
不具合の部位等	バン型冷蔵冷凍セミトレーラにおいて、ボデーレールとサイドパネルの接合部の施工管理が不適切なため、当該接合部の強度が不足しているものがある。そのため、走行時の負荷により接合部に亀裂が生じ、ボデーレールが剥がれ、最悪の場合、破断してタイヤに接触し、走行できなくなるおそれがある。			

14. 届出者：G r o u p e P S A J a p a n株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
7月28日	外 3063	車名：DS 型式：3BA-D34HN05 通称名：DS 3 クロスバック	24	令和元年11月20日～ 令和元年12月4日
不具合の部位等	冷却装置のリザーバタンクにおいて、製造機器のメンテナンスが不適切なため、接合部の溶着が不十分なものがある。そのため、接合部から冷却水が漏れ、最悪の場合、水温警告灯が点灯しエンジンオーバーヒートに至るおそれがある。			

15. 届出者：株式会社EVジャパン

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 日
7月30日	外 3064	車名：カワサキ 型式：不明 通称名：M U L E	1	平成31年4月8日
不具合の部位等	<p>①排気管（エキゾーストマニホールド）のカバーにおいて、当該カバーの形状が不適切なため、走行中に飛来した植物等が排気管周辺に堆積することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、走行により排気管周辺が高温となることで、堆積した植物等の火種となり、最悪の場合、車両火災に至るおそれがある。</p> <p>②エンジンプリーザチューブのキャッチタンクにおいて、当該キャッチタンクのメンテナンスが不適切なため、寒冷地での使用過程においてキャッチタンク内に水分溜まり、溜まった水分が凍結することがある。そのため、凍結した水分がエンジンから出るガス等のキャッチタンクへの経路が塞がれることで、エンジンの内圧が上昇し、エンジンからオイルが漏れ、最悪の場合、漏れたオイルが排気管に滴下し、車両火災に至るおそれがある。</p> <p>③ステアリングシャフトにおいて、ステアリングシャフトの組み付け指示が不適切なため、ステアリングギヤと結合用のボルトが干渉し、不十分な締結となっているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、嵌合部にガタが生じ、ステアリングシャフト側の嵌合部が早期に摩耗することで、操舵できなくなるおそれがある。</p>			

【参考】

●令和2年7月のリコール届出件数

		内 訳	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	20(+5)	10(-3)	10(+8)
輸入車	15(±0)	10(+2)	5(-2)
計	35(+5)	20(-1)	15(+6)

※ () 内は、対前年同月比

●令和2年度のリコール総届出件数及び総対象台数

<速報値>

	届出件数			対 象 台 数		
	国産車	輸入車	合 計	国産車	輸入車	合 計
4	17(-13)	19(-4)	36(-17)	210,060 (-4,684,165)	116,294 (+39,060)	326,354 (-4,645,105)
5	11(±0)	11(-7)	22 (-7)	80,875 (-14,733)	13,927 (-16,491)	94,802 (-31,224)
6	16(-4)	11(-8)	27(-12)	1,991,824 (+583,181)	9,538 (-54,219)	2,001,362 (+528,962)
7	20(+5)	15(±0)	35(+5)	183,257 (+39,709)	70,798 (+46,117)	254,055 (+85,826)
小計	64(-12)	56(-19)	120(-31)	2,466,016 (-4,076,008)	210,557 (-14,467)	2,676,573 (-4,061,541)

※ () 内は、対前年同月比